

天文フェス反省

01講演会	純粹にお客さんとして講演会を聞いてましたが、宇宙に関係する色々な話が聞けて、興味深くおもしろかったです。
	個人的に磯部先生の話が興味深かったです。多様性について考えさせられました。
	磯部先生の分かりやすい説明のおかげで色々な知識を楽しく学ぶ事ができました
	とてもいいお話だったと思う。もう少し人を集められるとよかったが…。【顧問】
02宇宙箱舟	思った以上に楽しかった！
	単に生き物を連れていだけじゃなくて、その生き物を育てるための食料も連れていかないと、結局意味がない…というような、当たり前だけどつい忘れてしまうことを、改めて学ぶことができました。
	色んな意見交換ができて楽しかったです。
	グループに分かれて他の人の意見を多数聞くことで色々な方法に気づくことができて良かったです 今度私も試してみようと思います。【顧問】
03プラネタリウム	自分のシフトは忘れないように心がけていこう！o(・x・)/
	お客さんにはいつも通り楽しんでいただけたようです！
	子供たちのなかには、「あれっ前に見たときって椅子に座ってたっけ？寝っ転がって見なかった？」と言っている子もいましたw
	以前行った、寝っ転がって見るタイプのプラネタリウムも、またできたら良いなと思います(*´▽`*) 今回、顧問がまったく様子を見に行くこともありませんでした。なので何とも言えませんが、顧問がノータッチでもできるというのは、高校生の部活動として理想的な姿であると思います。【顧問】
04屋上、天体観測室	(第2部) 屋上と天体観測室は、思った以上に後半よりも前半が人気だった印象があります。
	とにかく、晴れて良かった！！
	小学生が望遠鏡を覗くとき、少し危なく感じました。レンズに頭をぶつける、台上でふらつくなどです。
	屋上が手薄になった時があったと聞きました。 多くの人を一度に案内するよりも、案内しやすい面もあるかと期待しましたがどうでしょうか。屋上の様子はほとんど見られませんでした…。【顧問】
05クイズラリー	子供たちから六本木生、副校長先生まで、色々な人が楽しめる企画だったようです！ 廊下の所々に問題とヒントが貼ってあること、バインダーを使ったことなどが特に良かったことだと思います。
	子供一人一人に声をかけたら結構楽しんで参加してくれていて良かったと思いました。
	子どものことを考えると、ヒントの解説文が少し難しい文章になりすぎていたように思います。親が丁寧に説明してくれていた親子ではちょうどよかったようにも思いました。【顧問】
	見た人は分かると思いますが、まさにこれぞ宇宙おえかき！！という空間が部屋全体に広がっていましたね～やっぱり特に子供たちが楽しんでいました！（・ω・。） 今回は新聞紙なしでやってしまったので、次にやる時は念のために用意しておきましょう～ 小さな子達がすごくかわいかった、想像豊かな絵がたくさんみてるこっちもすごく楽しめました 天文部の持ちネタになったように思います。【顧問】
07PTA	おしるこ好評！
	休憩できる場所があって良かったと思いました。
	おしるこたくさんたべました
08模型	模型に興味を持ったお客さんが何人かいたみたいです。
	模型制作者の21TKに拍手！
	子供達とうまく話せなく、解説に苦労しました。
	ある意味、最も高校生らしい展示でした。パンフレットなどでもっと宣伝すべきでした。【顧問】
09磯部先生のコーナー	その場の流れだったのかよく分かりませんが、当初予定していたサイコロは全く使わず、ごく普通の質問コーナーになっていました…
	磯部先生への質問コーナー自体は盛り上がっていたので、結果オーライ？(°ω°)
	自分がいた時は太陽の大きさはどのくらい？という質問のときでした。子供にもわかりやすいように即興で分かりやすつつ、深く面白回答ができる磯部先生を見て、改めてすごい人だと思いました。
	ゲーム形式という計画には少し無理がありましたね。でも磯部先生も楽しんでもらえたようです。【顧問】

10多展開の 開催方式 (団体ではなく)	お客さん目線で考えると、行きたいところからまわれる、帰りたいときにすぐ帰れるという意味では、良い形式だったと思います。 星空観望とクイズラリーのみ参加して短時間で帰る、という方も実際にいました(´^`)ゞ
	屋上にいるときに、人がバラバラくると星空案内を全員にしきれない時があり、その点では団体の方が全員に案内しやすいかなと思いました。でも、その他では、クイズラリーなど各自でやってもらう企画なども楽しそうだったので、自分のペースで回れるというのはよかったです。
	すごく良いと思います。お客さんの思い思いに動いてもらい、こちら側はお客さんが集まるように呼びかけをしたり、その中でほかの班をお手伝いしたり、バラバラな作業のようでとても一体感があつたとおもいます。おかげで充実した仕事ことができました
	あり得るやり方だと思います。ただし、1階の入口にPTAの人がずーっといてくれたり、卒業生や生徒会役員がいなければなし得なかった方法とも言えます。【顧問】
11卒業生	本当に助かりました。 卒業生の協力もあって、安心して今回のイベントを行うことができました。
	部員だけでは、天文フェスは成功させられなかったと思うので、協力していただいてありがたいと思いました。また、自分の練習不足の所を補っていただいたり、学ぶ所が沢山ありました。
	久しぶりに先輩方に会えるだけでなく一緒に天文フェスを盛り上げることが出来てよかったです
	天文フェスをやることになったとき、「もう卒業生に頼るしかない。」と思いました。こんなに集まってくれてうれしいです。卒業生と良い関係を保ちながら部活を発展させていくという道も悪くはないと思います。部員の合意が得られれば、合宿にコーチとして参加してもらう方法なども模索してみようと思います。【顧問】
12生徒会	天文の知識をあまり必要としない、宇宙おえかきや、磯部先生の質問コーナーで活躍してもらいました。
	天文部員だけでできない部分を助けてもらって感謝です
	この天文部をとおしてあまり関わりのない生徒会の人たちと仲良くなれるとてもいい機会でした
	天文部に入部させちゃいましょう。F(´;);【顧問】
13講師	天文に関する新しい知識も増えて、良い勉強になったと思います！ ただ、連絡が中々取れないほど忙しい方だったので、予定があまりはつきりせず、不安があつたというのが正直な感想(´▽`)
	また講師の先生を呼ぶ機会があれば、どんな方を呼んで何をしてもらうか、みんなで色々考えて決めてから、連絡を取ったほうが良いと思います～
	わたしたちの知っている知識を上回る知識を聞いたり実感することで自分たちの向上心も上がるような気がします
	今回は「理数研究校」の指定を受け、予算がつかしました。ある意味「呼ばねばならなくなった」のです。それなりに偉い先生を呼ぶことになるわけですから、手続きが面倒だったり、気をつかうことも多く、正直なところ顧問は大変です。それでも、やっただけのことはありました。もしも、部員からこんな先生を呼んでこんなことをやりたい、というアイディアが出てくれば、またやりたいと思います。「呼ばねばならぬ」形でやるのはもうやめにしたいというのが率直な思いです。【顧問】
14前日まで	練習やしおりの切り貼り以外は、ほとんど先生にやっていただいちゃいました(・ω・;) 今回は急だったので仕方がなかった部分もありますが、次は部員もちゃんとやりたいところですね！(・ω・。)
	パンフレット、クイズ、掲示物、卒業生への連絡、その他の準備は顧問がやり過ぎと思うぐらいやりました。でも今回、部員は当日の運営を中心にがんばってくれれば良い、と割り切って実施することにしたイベントですから、想定通りです。実際に当日の役割をちゃんとこなせるようにみんな準備してくれていたと思います。その中でも、観測する天体を提案してくれたり、自主的に模型を作ってきてくれたり、葉の文字やレイアウトの修正を専属デザイナーに発注したり、自主練習を呼びかけたり…、部員から能動的な働きかけがあつたことはとてもうれしかったです。【顧問】
15当日準備	特に問題もなく、てきばきできていたのでバッチリだったと思います！ 分担してできたのでスムーズでよかったと思います。
16当日片付	卒業生にも片付けをたくさんやってもらうことになってしまったのが少々申し訳なかった…m(_ _)m 片付け自体はスピーディーでバッチリだったと思います！！
	準備と同じく。 当日準備と片付けについては安心して見ていられます。合宿やイベントを重ねるうちに、みんなで協力してやること、ひとりひとりが全体のことを考えて動くことが身についてきたと感じます。これは天文部が自慢できることのひとつです。【顧問】

17その他	・望遠鏡を動かす練習 ・天文台のドームに油さす ・物理地学室と天体観測室のお掃除 ・新入生歓迎会のこと
	正直もっと人が来ると思っていた。
	来年度も観望会をやるのか。やるならだれを対象に、どんな形式でやるのか。などを今後考えていかねばなりません。人手さえ確保できれば、今回のような「フェス形式」も悪くはないと思います。でも、毎年このような形で実施できるかは慎重に考える必要があると思いますし、ターゲットを絞った観望会の良さもあります。来年度の部員で決めていけばいいことだと思いますが、カギは来年度の部員数であると言えるでしょう。【顧問】